

授 業 科 目 名	倫理学	教 員 名	横山 裕	免許・資格 との関係	小学校教諭	
					幼稚園教諭	
授 業 形 態	講義	担当形態	単独	卒業要件	保育士	選択必修
科 目 番 号	JIN103	配当年次	1年後期		こども音楽療育士	
単 位 数	2単位			小幼コース	選択必修	幼保コース
科 目						
施 行 規 則 に 定 める 科 目 区 分 又 は 事 項 等						
科 目	告示別表第1による教科目					
系 列	保育の本質・目的に関する科目					
一 般 目 標	保育者に求められる資質と役割、保育者の仕事内容、保育者の専門性など、保育者という仕事の概論を理解する。また、保育者の学び合う姿勢が目指すべき保育の専門性を向上させていることを理解する。					
到 達 目 標	倫理学上のさまざまな主張の検討を通して、倫理的問題に関する自主的判断能力の育成をめざす。					
授 業 の 概 要	倫理的問題に関する自主的判断能力の育成をめざす。そのために、倫理学上のさまざまな主張を紹介し、それぞれの特徴と問題点を明らかにする。具体的には、「道徳的ジレンマ（自由と平等、忠と孝）」、「性善説と性悪説（ロックとホッブズ、孟子と荀子）」、「黄金律と競争原理の矛盾」、「欲望と道徳の関係（禁欲主義と功利主義）」、「道徳と宗教（道徳を強化する宗教・道徳を超越する宗教）」、「道徳否定論（相対主義・ニヒリズム）」などの問題を取り上げて、学生たちの自主的思考を促す。授業形態は、講義とする。					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、学科のディプロマポリシーに掲げる「1. 社会・教育等に関連する国内外の様々な問題について、現状・課題を認識し、その解決策を考察できる能力を身につけている、2. 教育者としての情熱を持ち、正しい倫理観と責任感を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授 業 計 画	<p>第1回:授業全体の見取り図の説明(授業のねらいを説明する。)</p> <p>第2回:道徳的ジレンマ(1)</p> <p>忠と孝(主君と父親が対立した平重盛は「主君への忠」と「父親への孝」というふたつの価値の間で板ばさみになった。これは「道徳的ジレンマ」の一例である。)</p> <p>第3回:道徳的ジレンマ(2)</p> <p>自由と平等(「自由」も「平等」も近代社会の代表的価値であるが、「福祉にどれほどの税金を投入すべきか」などの問題をめぐってジレンマを引き起こすことがある。)</p> <p>第4回:性善説と性悪説(1)</p> <p>孟子と荀子(「人間の生まれつきの性質は善なのか、悪なのか」に関する孟子と荀子の対立。道徳・政治・教育の役割に関して異なる見解が帰結する。)</p> <p>第5回:性善説と性悪説(2)</p> <p>ロックとホッブズ(ロックの社会契約論は人間の理性を信じる点で性善説的だが、ホッブズの社会契約論は「政府が無ければ人間は殺しあう」とする点で性悪説的である。)</p> <p>第6回:黄金律</p> <p>(「他人からされたくないことは他人に対しておこなってはならない」というのが黄金律である。東洋でも西洋で</p>					

	<p>も根本的な道徳原理の一つとされた。)</p> <p>第7回: 黄金律と競争原理の矛盾</p> <p>(近代の経済社会は「自由競争による社会の発展」を肯定したが、競争原理と黄金律は矛盾する。なぜなら競争とは、他人からされたくないこと(=負かされること)を他人に対してすることであるから。)</p> <p>第8回: 中間テスト(出題範囲は第1回～第7回の授業内容から。テスト実施後、解説をおこなう。)</p> <p>第9回: 欲望と道徳の関係(1)</p> <p>禁欲主義(「欲望は道徳の妨げになるから、道徳的であるためには禁欲的でなければならない」という考え方が禁欲主義である。)</p> <p>第10回: 欲望と道徳の関係(2)</p> <p>功利主義(自分の欲望を最大限に満たそうとするのは「利己主義」だが、社会の人々の欲望を最大限に満たすことを「善」の定義とするのが「功利主義」である。)</p> <p>第11回: 道徳と宗教(1)</p> <p>道徳を強化する宗教(「善人は天国・極楽へ、悪人は地獄へ行く」という宗教の教えは道徳を強化する働きを持つ。)</p> <p>第12回: 道徳と宗教(2)</p> <p>道徳を超越する宗教(「悪人こそが往生できる」「人は善行ではなく信仰によってのみ天国へ行ける」という宗教の教えは、道徳を否定はしないが超越する。)</p> <p>第13回: 道徳否定論(1)</p> <p>相対主義(「善悪の基準は各人によって別々であってよい」という考え方が相対主義である。一見個人の意見を尊重しているように見えるが、相対主義を徹底させると道徳は成り立たなくなる。)</p> <p>第14回: 道徳否定論(2)</p> <p>ニヒリズム(「神が存在しない以上、善悪も存在しない」という神学的ニヒリズムと、「善悪とは、宇宙のかたすみに短期間生存する人類という生き物の習性にすぎない」という宇宙論的ニヒリズムがある。)</p> <p>第15回: 授業全体のまとめ(授業全体を振り返り、重要なポイントを復習する。)</p> <p>定期試験:(出題範囲は第1回～第15回の授業内容から。)</p>
<p>学生に対する 評価</p>	<p>中間テスト30%、定期試験70%</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメントを記載して返却する。 ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。 ・答案例を配布する。
<p>時間外の学習 について</p>	<p>毎回、事前学修として、授業の前に、次のキーワードについて辞典などを使って調べておくこと。「ジレンマ」「忠(ちゅう)」「孝(こう)」「平重盛(たいらのしげもり)」「性善説(せいぜんせつ)」「性悪説(せいあくせつ)」「孟子(もうし)」「荀子(じゅんし)」「ジョン・ロック」「ホブズ」「社会契約論(しゃかいけいやくろん)」「黄金律(おうごんりつ)」「自由競争(じゆうきょうそう)」「禁欲主義(きんよくしゅぎ)」「功利主義(こうりしゅぎ)」「天国(てんごく)」「極楽(ごくらく)」「地獄(じごく)」「往生(おうじょう)」「相対主義(そうたいしゅぎ)」「ニヒリズム」。どの回の授業のキーワードであるかは上記「3. 授業計画」を参照しなさい。</p> <p>さらに、事後学修として、授業の後に、これらのキーワードについて授業でどのように説明された</p>

	かを自分で整理しておくこと。その他、毎週土日に必ず振返りをを行うこと。
テキスト	特になし
参考書・ 参考資料等	授業の際にプリントを配付する。
担当者からの メッセージ	
オフィスアワー	授業の前後の時間(メール等でアポイントを取ること。)